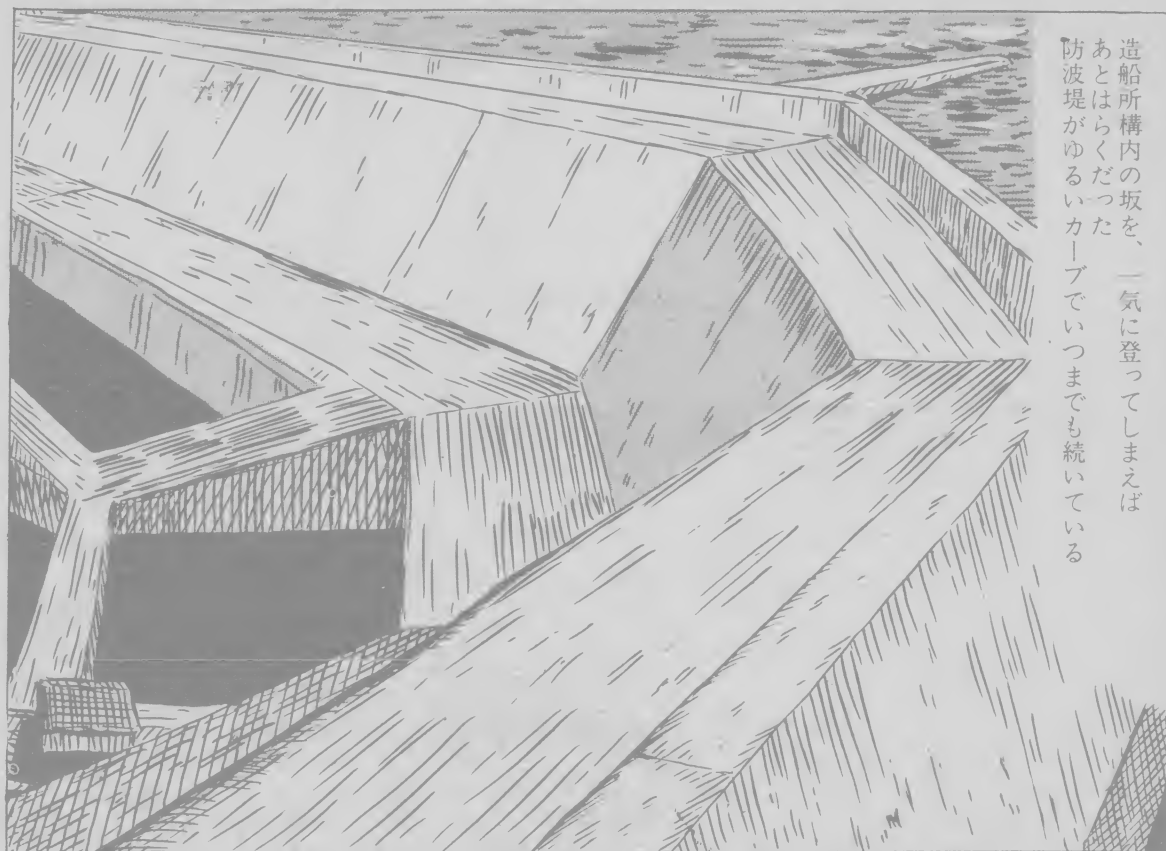
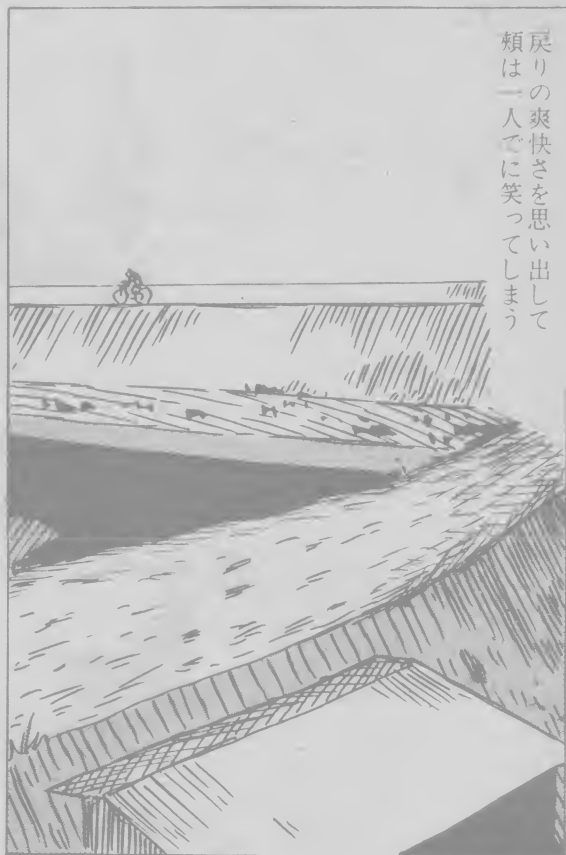
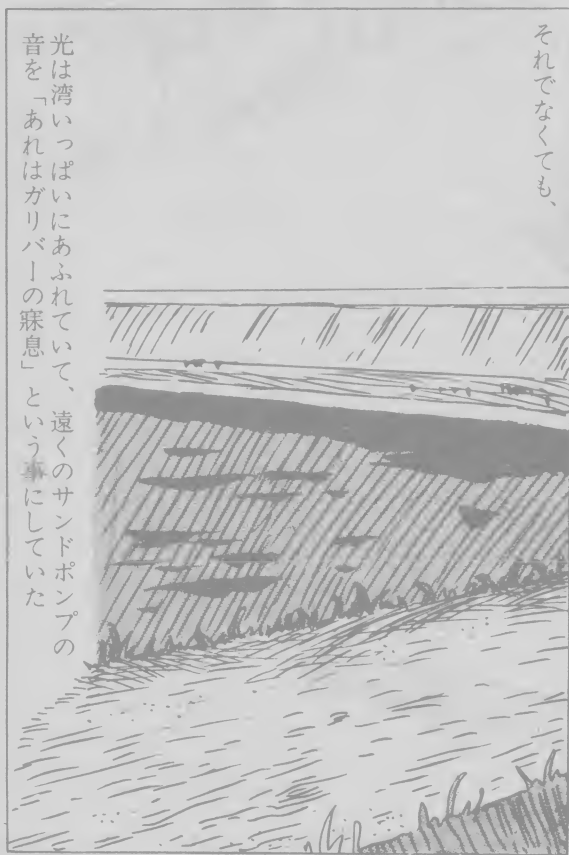
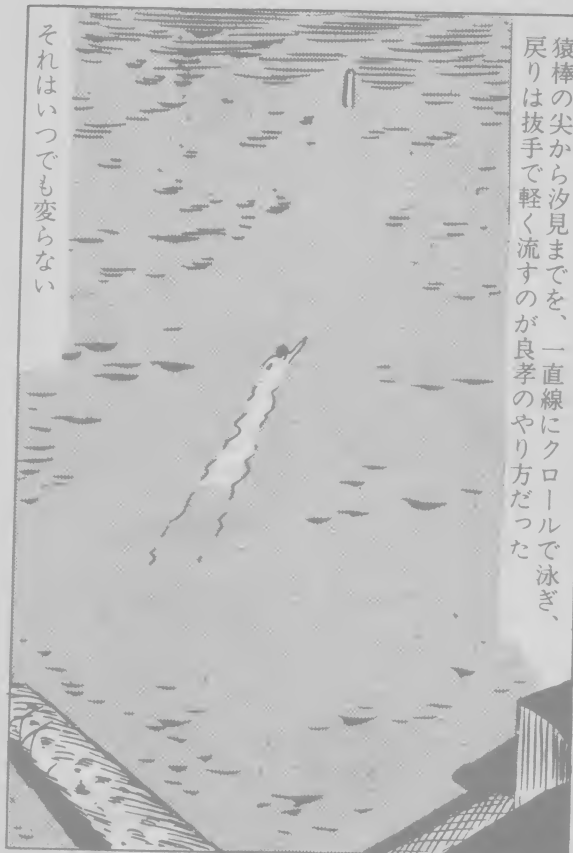
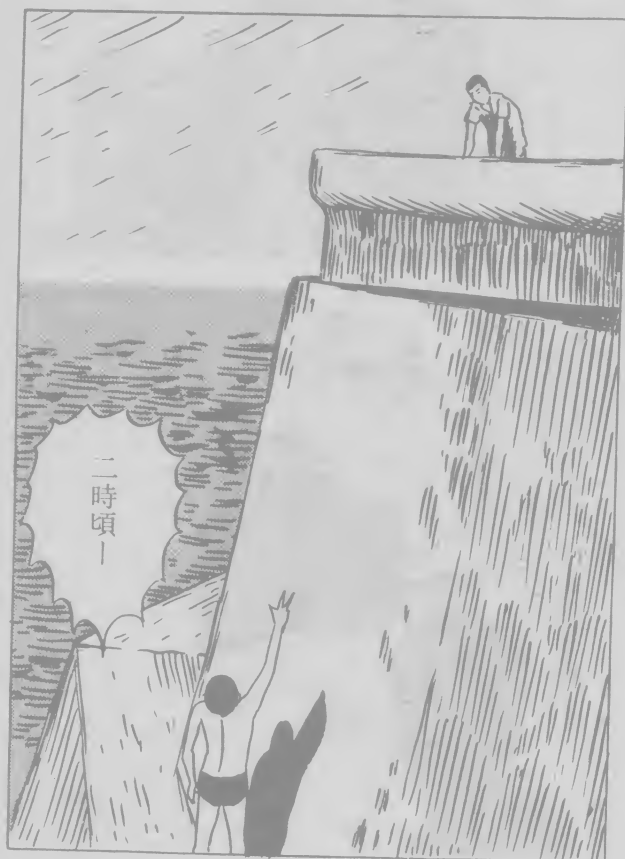
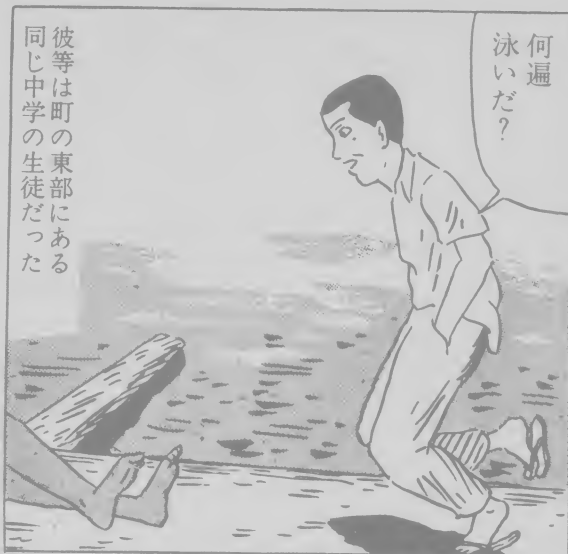
あの島影行
鈴木翁二

造船所構内の坂を、一気に登ってしまえば
あとはらくだった
防波堤がゆるいカーブでいつまでも続いている

スタンドを掛けずに自転車を投げ出すと
良孝は、そのまま海へ飛び込んだ

猿棒の尖から汐見までを、一直線にクロールで泳ぎ、
戻りは抜手で軽く流すのが良孝のやり方だった
それはいつでも変らない

もう一度繰り返すかどうかは
(この八月の)光が決定することだ
稲吉ーい
何時頃来たかー

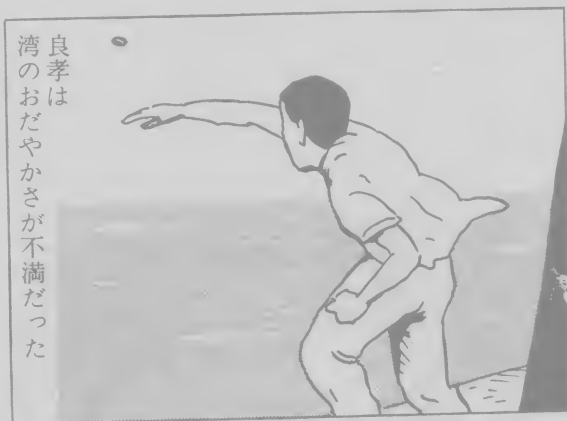
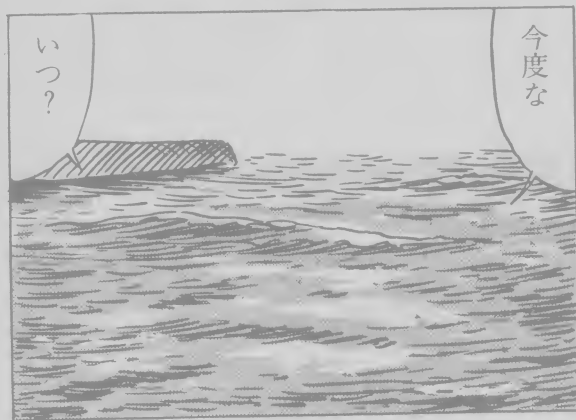
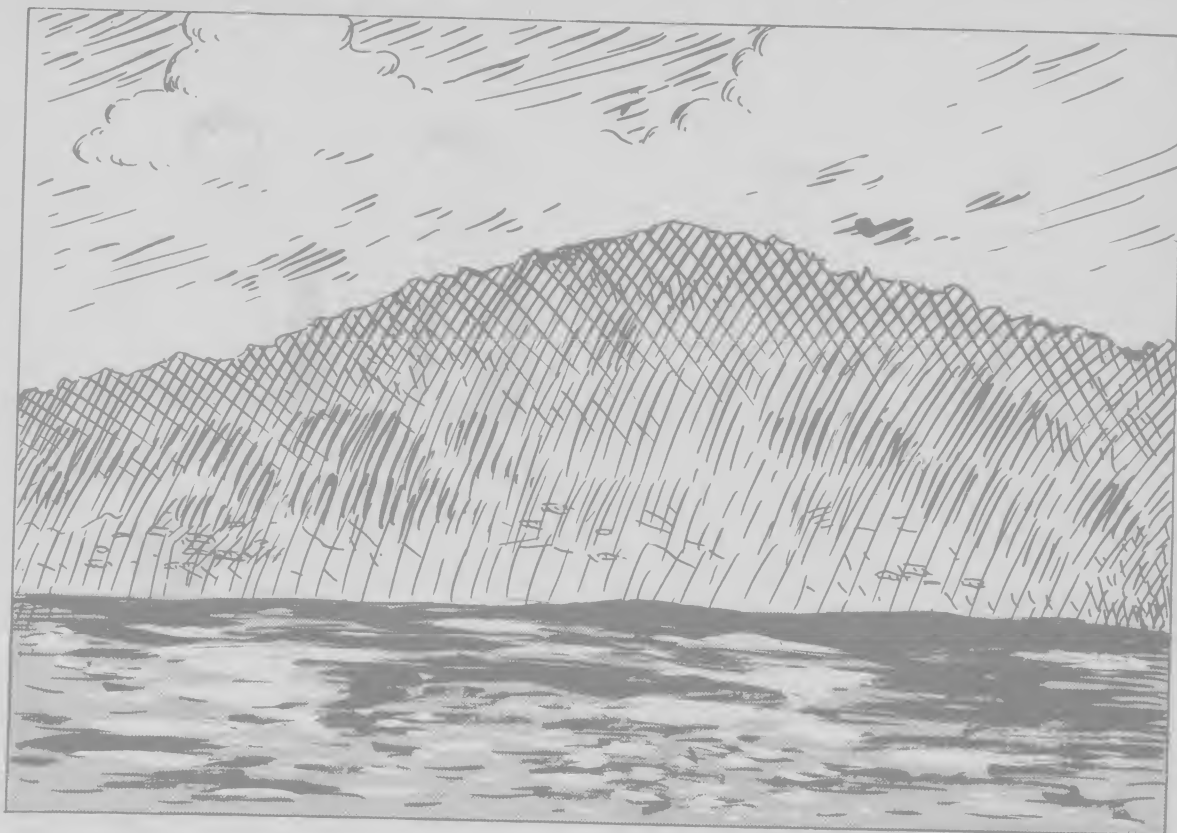
二時頃ー

新学期が始まって間もなく、良孝がクラスへ模型工作の雑誌を持っていったことから、話すようになった

今日は見えるな
うん見える

ありゃいいな！
バツグン！

今度遊びに行かんか
いいよ、いつ？

今度な
いつ？

良孝は湾のおだやかさが不満だった

「あそこへ行けば太平洋が見えるぞ」そんな気がした

O島は、思ったよりも大きい感じだった
発着所前からのバスをやり過ごして
二人は歩いた。
ブオー

よーい
よーい

あっこも立派に
むけとるわいね～

ウハハ

ミーン
ミーン

ぎゃ
居る！
居る！
知っとる
やつに
会うが！
あれ伊藤弘子じゃ
ねえか
バレー部の
俺
よう知らんが
目、悪いし
まずい！
俺達もっと
向こう行こか
行こう！

ふわっ
しんどいわ〜
からすなえが
起きて
恐がかったあ!
クセになるぞ〜
うん
………
なんであんな処に
あるのかな
な?

あいつら
こっちばっか見とる

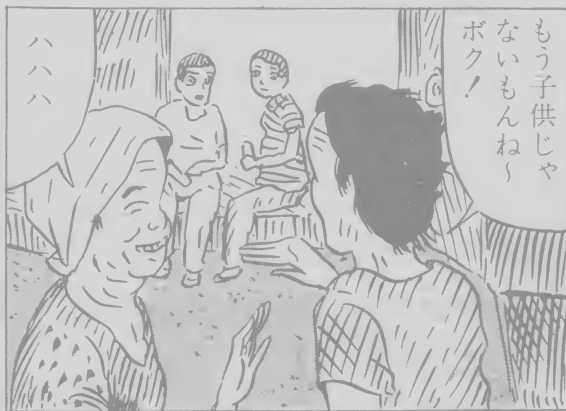
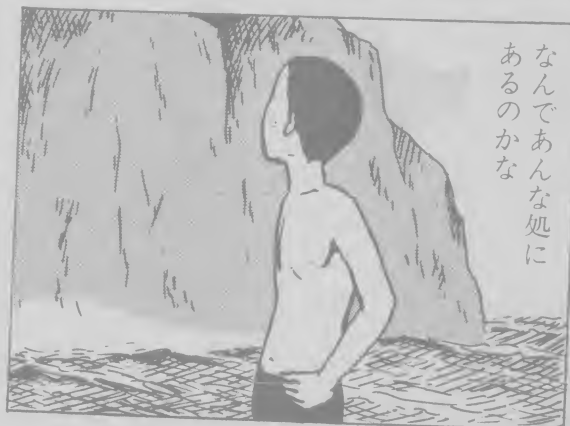
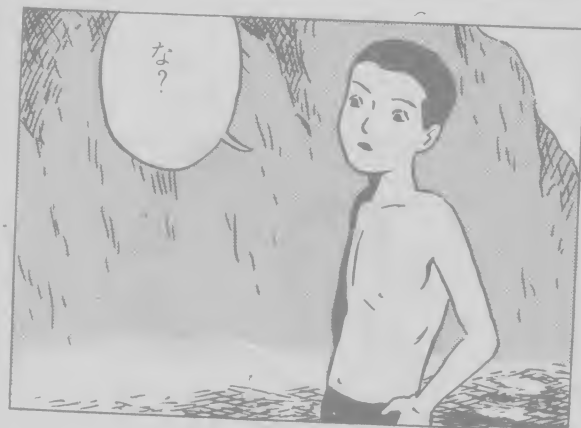
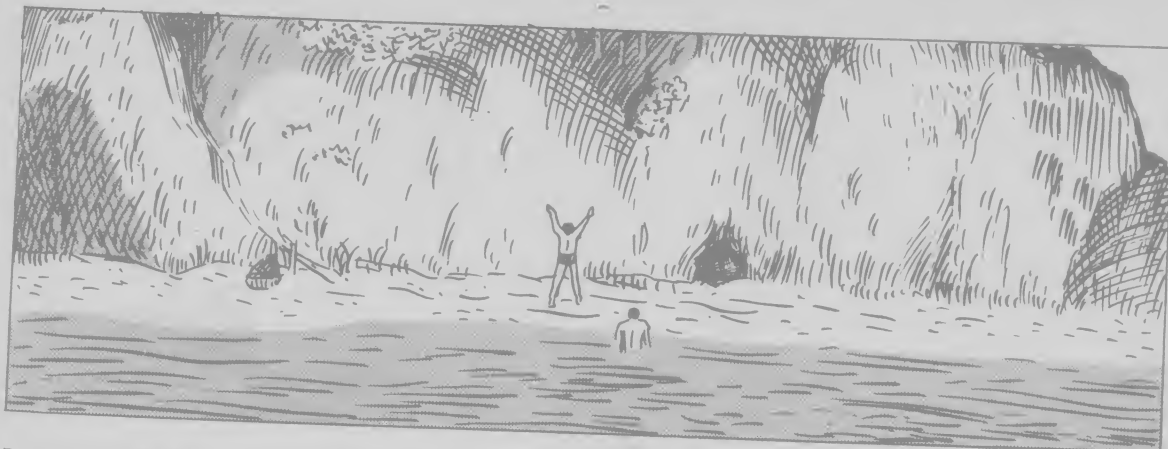
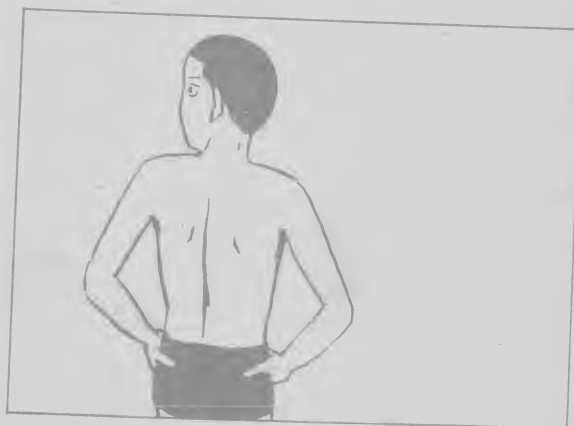
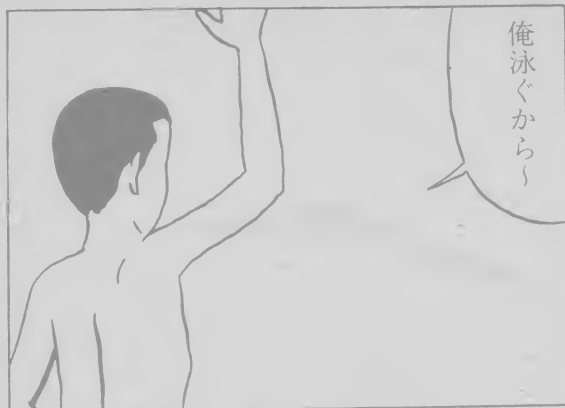
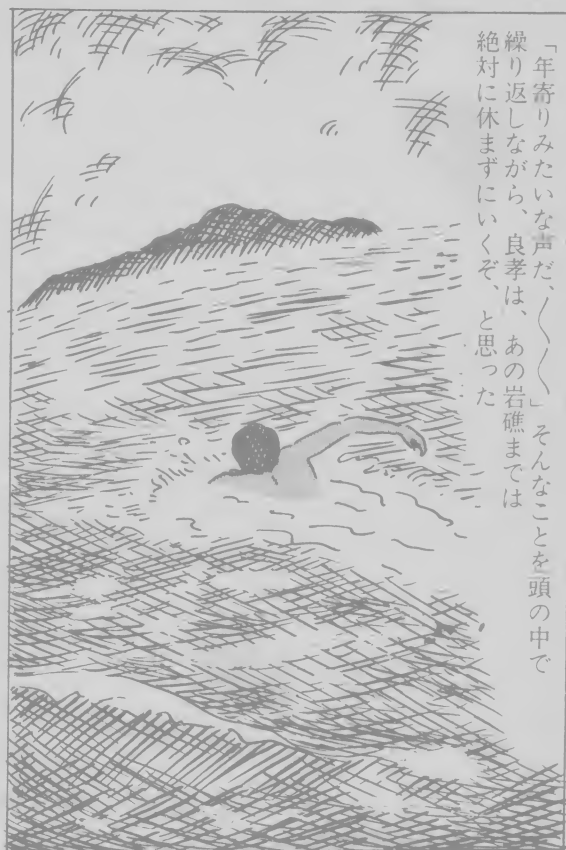
ひっかけたろか
見とれ…
おーい
おーい

—あんたら○中の人か
—……ふふ
—○中なら三の三の島崎って
やつ知っとる
—……
—あんたら泳がんのか
—泳いだもん、ね！
—ね～

稲吉
来いよ～

俺泳ぐから～

せいっ!

がぶっ
わっ
わっ

「年寄りみたいな声だ、〳〵」そんなことを頭の中で
繰り返しながら、良孝は、あの岩礁までは
絶対に休まずにいくぞ、と思った

ふあっ
良孝は、岩場に横になると目を閉じてみた
世界が赤く遠くなり、それは、彼をあやうくさせた

ザザー

ザー
あいつら
××の者だと

学校のキャンプに〃私服で来てんだってよ

ふうん

ざやっ

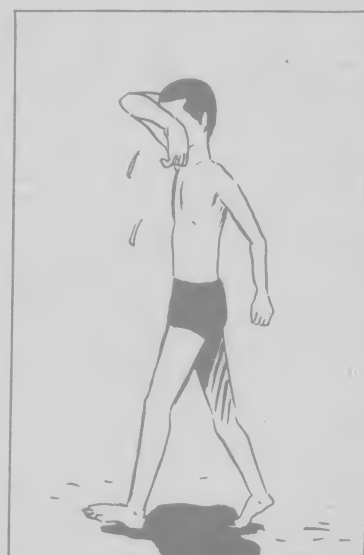
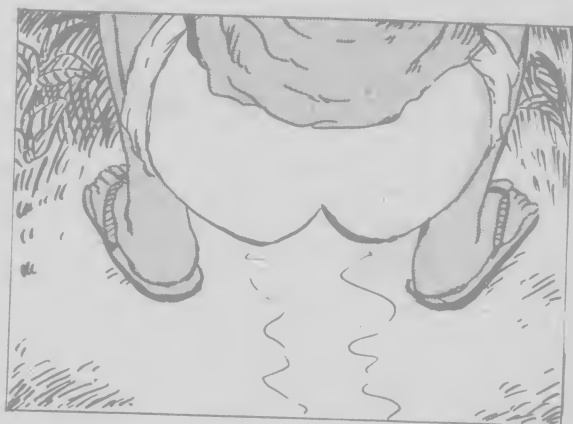
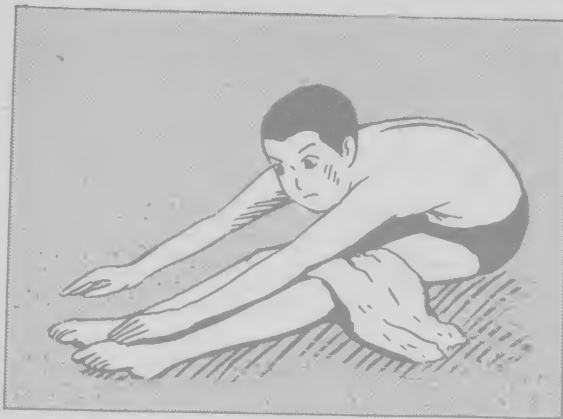
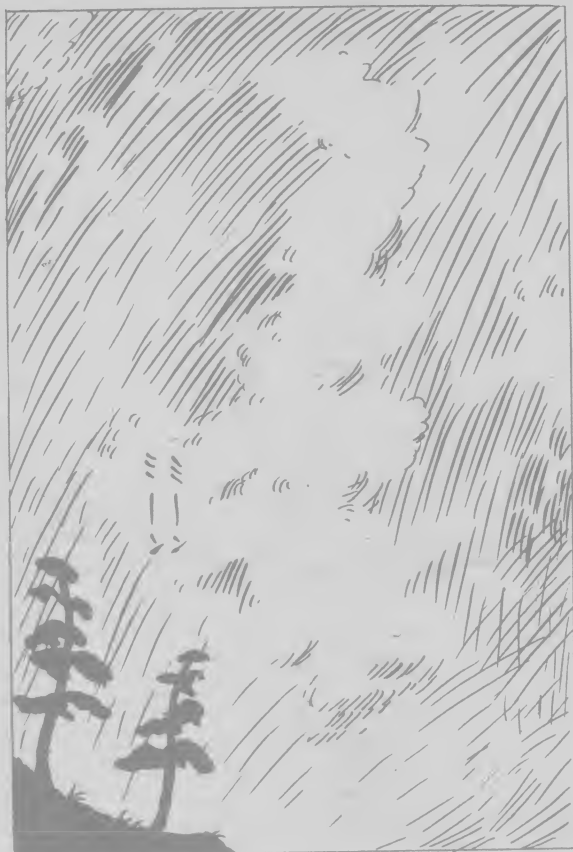
ふ

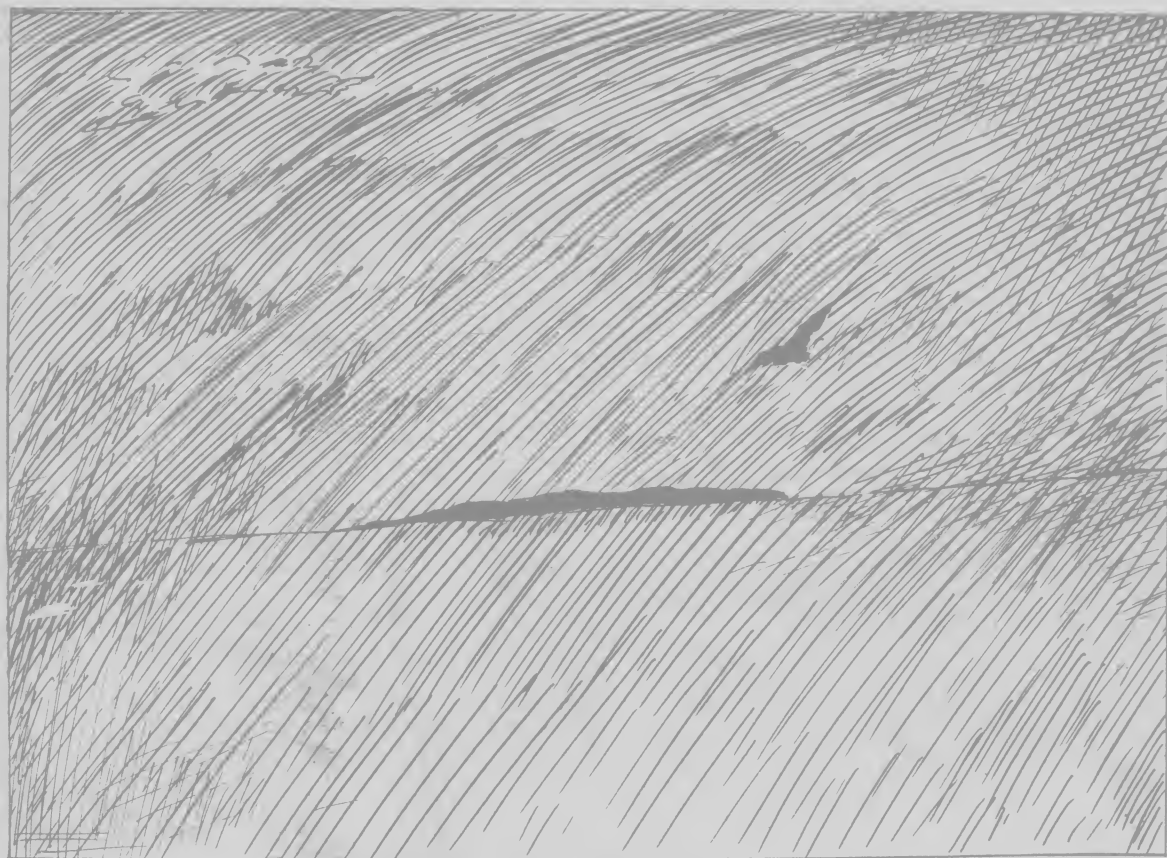
あ

あ……!

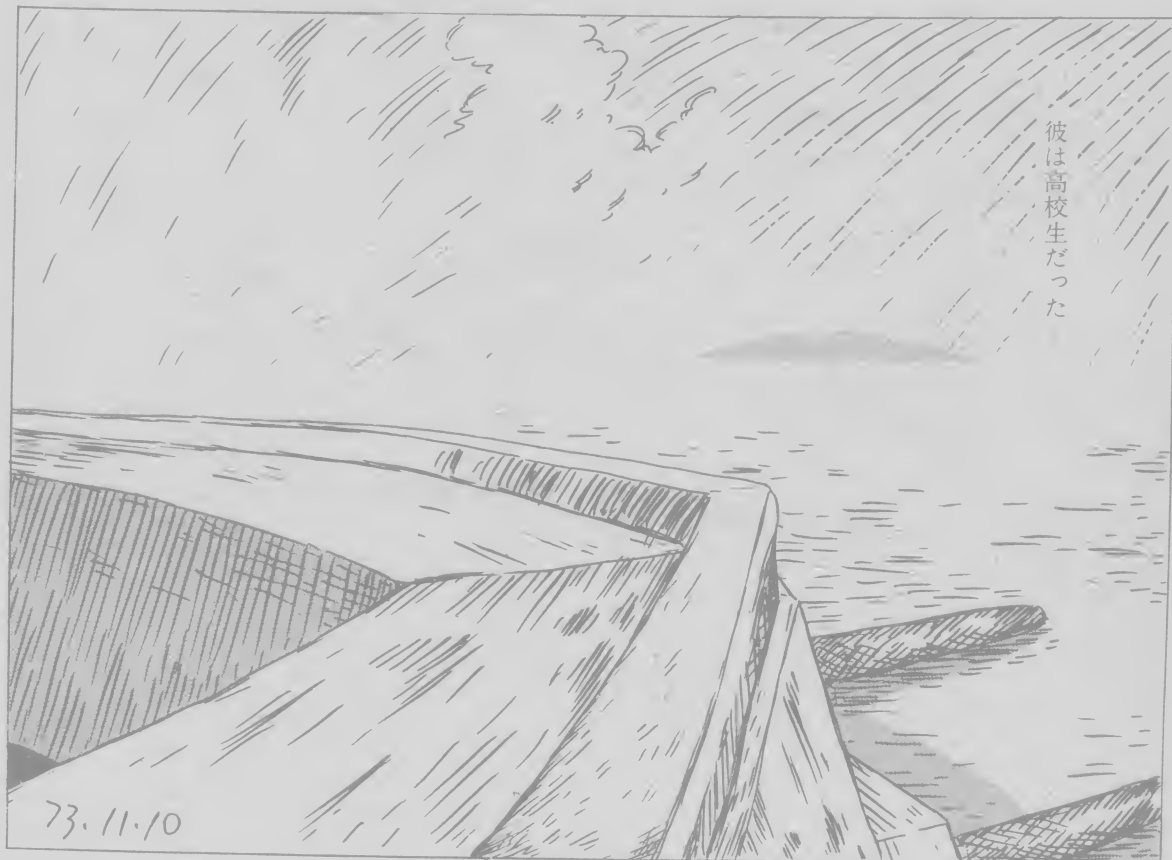
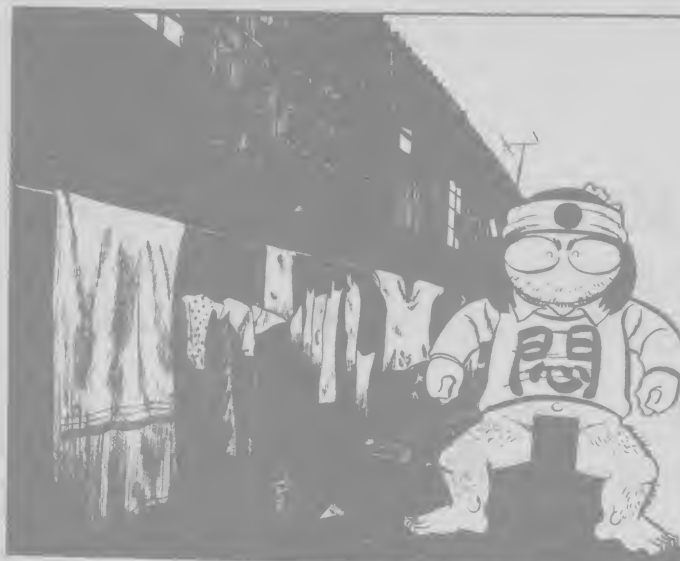
アハハハ

ふん

ミーン
ミーン

甲板に立つと島影が見えた
島の背後にだけは、まだ海の反映が残っていそうな
気がした

「さっきまであそこにいたんだな…」
今も少女たちが笑っているような気がした

卒業アルバムの少女たちを
×じるしで犯して次の年の夏に

彼は高校生だった

73.11.10

アシスタント募集

○ペン画履歴書を添えて下記へ

練馬区南大泉町255

山上たつひこ

悶絶プロダクション

応募作品のきまり

① 作品の独創性を第一とする。
② テーマ、モチーフ、構成自由。
③ 枚数はなるべく20枚以内。
④ B4判位の用紙に、必ず、タテ27.3cm ヨコ18.2cmに書くこと。コマ取り自由。
⑤ 墨汁または製図用黒インクを使用し、ウス墨やアミの色はつけない。
⑥ セリフやナレーションの文字は、鉛筆で正しく読みやすく書くこと。
⑦ 締切日は毎月15日とし、「ガロ」編集部において審査する。
⑧ 入選作品は「ガロ」誌上に掲載する
⑨ 返送用切手同封の作品のみ返却する。
⑩ 作品送り先 東京都千代田区神田神保町1―62 青林堂「ガロ」編集部

バックナンバーはセットで買うと安い！

Ⓐセット 41年12月号～42年11月号
Ⓑセット 42年12月号～43年11月号 特価 1,000円(送料300円)
Ⓒセット 43年12月号～44年11月号 特価 1,500円(送料300円)

「ガロ」は41年11月号までは品切れです。44年12月号～45年5月号までの分売価格は，1冊送料共200円，45年6月号～46年10月号までは，220円，46年11月以降は270円です（バックナンバーですので美本でない場合もありますが御了承下さい）

なお，セット販売はⒶⒷⒸセットのみで，Ⓒセット以降のバックナンバーはセットに組んで販売いたしません

申込先 ―― 東京都千代田区神田神保町1―62 青林堂